

第3次横瀬町地球温暖化対策実行計画

**令和6年度
温室効果ガス排出量実績報告書
[事務事業編]**

横瀬町地球温暖化対策実行計画推進本部事務局

《実行計画の取り組み》

町では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、一事業者として自らの事務・事業により排出される温室効果ガスを率先して削減し、地球環境の保全に資することを目的として、平成27年3月に『第2次横瀬町地球温暖化対策実行計画』を策定し、平成27年度から平成31年度までの5年間で温室効果ガス5%削減を目標掲げ、地球温暖化防止のための諸施策を進めました。その結果を踏まえて、令和3年3月に『第3次横瀬町地球温暖化対策実行計画』を策定しました。目標として、平成25年度排出量を基準とし、令和2年度から令和6年度の5年間で、温室効果ガス排出量を基準年度比13%削減することを目指します。

《令和6年度の結果》

令和6年度における町の事務及び事業活動に伴い排出した温室効果ガス総排出量は、670,052kg-CO₂でした。本計画の基準年である平成25年度の温室効果ガス総排出量970,243kg-CO₂と比較して、300,191kg-CO₂（30.94%）の削減となりました。

1 対象施設

本町が行う全ての事務事業及び出先機関等を含めた全ての組織及び施設を対象とし、前計画対象外であった指定管理制度の活用及び外部委託の実施による事業（指定管理施設）についても対象とします。

施 設 一 覧

施	設	名
役場庁舎		横瀬中学校
消防団器具置場		学校給食調理場
保育所		町民会館
児童館		歴史民俗資料館
活性化センター		町民グラウンド
観光トイレ		総合福祉センター
水質管理センター		道の駅果樹公園あしがくぼ
旧芦ヶ久保小学校		横瀬駅前観光案内所
横瀬小学校		

2 対象とする温室効果ガス

本計画において排出量削減の対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年10月9日法律第117号）第2条第3項に規定されている温室効果ガス7種類（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六フッ化硫黄、三フッ化窒素）のうち、二酸化炭素とします。

3 活動量の比較

温室効果ガス排出に関する活動量は次のとおりです。

活 動 量 比 較

種 別	単 位	基準年度 (H25)	R6 年度	基準対比(%)
電 気	Kwh	1,295,244	1,442,867	11.40
A重油	ℓ	642	0	—
灯 油	ℓ	51,140	21,471	△58.02
ガソリン	ℓ	8,815	7,522	△14.67
L P ガス	ℓ	21,773	24,533	12.68
軽 油	ℓ	1,115	1,003	△10.04

4 排出量の比較

令和6年度の温室効果ガス排出量は、次のとおりです。

電気の使用により排出された温室効果ガスは、排出量全体の約67%を占めています。

また、灯油使用による温室効果ガス排出量は、基準年度の約58%削減となっていますが、これは平成26年11月に役場庁舎の空調設備を入れ替えたことが大きく影響していると考えます。

排 出 量 比 較

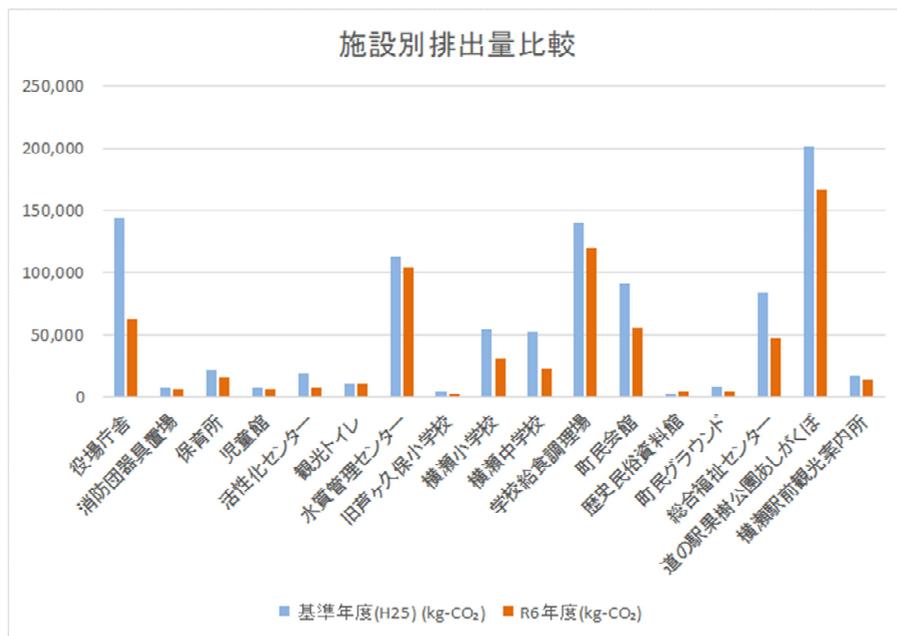
種 別	基準年度 (H25) (kg-CO ₂)	R6 年度 (kg-CO ₂)	基準対比 (%)	割合 (%)
電 気	687,775	450,175	△34.55	67.19
A重油	1,740	—	—	—
灯 油	127,311	53,453	△58.01	7.98
ガソリン	20,465	17,463	△14.67	2.60
L P ガス	130,071	146,334	12.50	21.84
軽 油	2,881	2,627	△8.82	0.39
合 計	970,243	670,052	△30.94	100.00

5 施設別の比較

下表は、施設別に排出量を比較したものです。全体の結果は、基準年度(平成25年度)と比較して令和6年度は30.94%の削減となっています。17施設のうち16施設が基準年度と比較して排出量が減少しており、全体の結果としても排出量が減少しております。

施設別排出量比較

施設	基準年度(H25) (kg-CO ₂)	R6年度 (kg-CO ₂)	基準対比 (%)
役場庁舎	144,061	61,760	△57.13
消防団器具置場	6,834	5,446	△20.31
保育所	21,354	14,628	△31.50
児童館	7,393	5,543	△25.02
活性化センター	18,334	6,630	△63.84
観光トイレ	9,957	9,486	△4.73
水質管理センター	112,431	103,488	△7.95
旧芦ヶ久保小学校	3,790	1,634	△56.89
横瀬小学校	53,693	30,636	△42.94
横瀬中学校	51,680	22,707	△56.06
学校給食調理場	139,733	119,636	△14.38
町民会館	91,145	54,984	△39.67
歴史民俗資料館	1,793	4,241	36.53
町民グラウンド	8,041	3,542	△55.95
総合福祉センター	83,035	46,952	△43.46
道の駅果樹公園あしがくぼ	200,601	165,921	△17.29
横瀬駅前観光案内所	16,367	12,818	△21.68
合計	970,243	670,052	△30.94



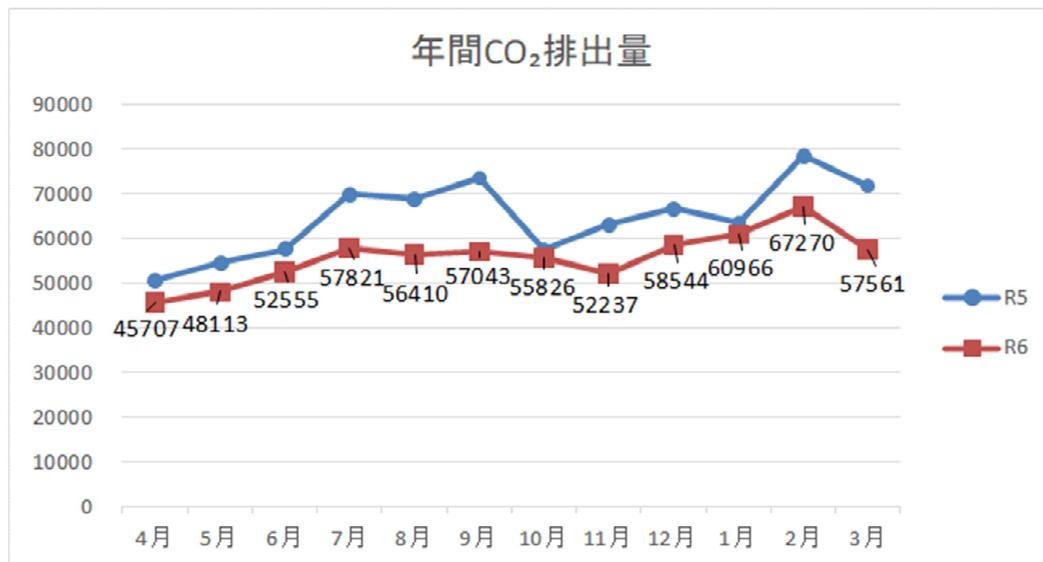
6 二酸化炭素排出量の推移

下表は、月別の二酸化炭素排出量を比較したものです。

暖房機器を使用する冬季に二酸化炭素排出量が増加する傾向にあります。

令和5年度は5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、公共施設の利用率・稼働率が上昇し、二酸化炭素排出量は増加傾向にあります。

令和6年度は前年度と比較して電気使用量が増加したものの、電気排出係数が前年度の0.396から0.312に下がったことにより、二酸化炭素排出量は減少傾向にあります。

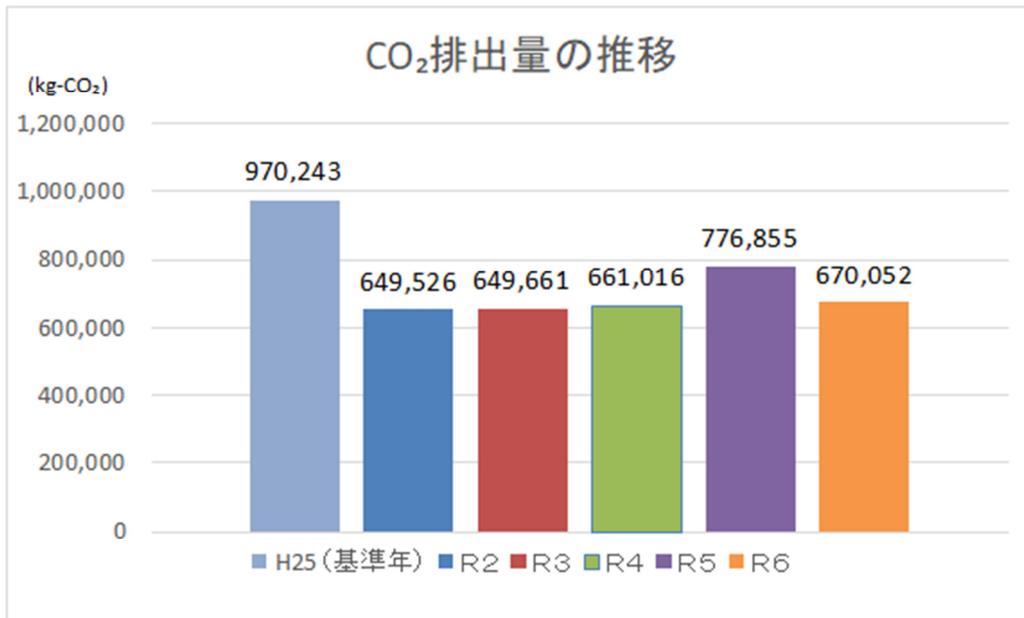


下表は、年度ごとに温室効果ガス排出量を比較したものです。

基準年度と比較してCO₂換算で300,191kg-CO₂ (30.94%)を削減し、目標年度の削減目標に達しており、前年度と比較すると約13%減少しております。

温室効果ガス排出量比較

	H25 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	970,243	649,526	649,661	661,016	776,855	670,052
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	-	320,717	320,582	309,227	193,388	300,191
基準年度比	-	△33.06%	△33.04%	△31.87%	△19.93%	△30.94%
対前年度比	-	△29.43%	0.02%	1.75%	17.52%	△13.75%



7 目標達成状況

令和6年度の温室効果ガス排出量の目標年度に対する進捗状況は次のとおりです。計画の5年度目にあたる令和6年度の結果は、基準年である平成25年度に比べ30.94%の削減となりました。

目標達成状況

種別	基準年(H25年度)	R6年度	目標(R6年度)
温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)	970,243	670,052	844,100.54
基準年度 増減率(%)	—	△30.94	△13.00
目標値差違(%)	—	—	—

8 今後の温室効果ガス削減の取組

第3次計画の5年度目となる令和6年度の結果は、令和6年度達成目標として設定していた数値を上回り、目標を達成することができました。達成要因としては、令和2年度に電力会社を変更し、再生可能エネルギー比率の高い電力を使用することでCO₂の削減につながったと考えられます。

今後も継続して温室効果ガス排出量を減少させるためには、空調機器の適切な温度設定の徹底や、無駄な電気を使用しない等の職員の取組みの強化を図ること、省エネ機器の導入、再生可能エネルギーへの転換、再生可能エネルギー比率の高い電力を使用することについての検討をする必要があります。

参 考

◆電気排出係数の推移

電気の仕様に伴う電力排出係数は、国から公表される各電気事業者の基礎排出数（H27年度以前は実排出係数）を使用し、令和6年度は0.312kg-CO₂/kWh（秩父新電力株の実排出係数）を使用しています。

なお、基準年度（平成25年度）は、0.531kg-CO₂/kWh（旧東京電力株の実排出係数）を使用しています。

	単位	H25年度 (基準年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
東京電力エナジーパートナー(株)	Kg-CO ₂ /kWh	0.531	0.457	0.441	0.451	0.457	0.408
秩父新電力株		—	0.314	0.299	0.299	0.396	0.312